

## 平成28年11月七管内漁船海難 計6隻

### ☆11月の主な漁船海難

#### 【衝突海難の概要】

・漁船A丸(1人乗り)は、午前中の漁を終えて帰港する際、前方の見張りが不十分だったことから、錨泊中のミニボート(2人乗り)に直前まで気付かず衝突してしまいました。

幸い、両方の船の乗員に怪我は無く、船体にも大きな損傷はありませんでした。

航行中、漂泊中も常に見張りを怠らないようにしましょう。

#### 【乗揚げ海難の概要】

・漁船B丸(1人乗り)は、漁を終えて帰港中、港近くの浅瀬の正確な位置を把握しておらず、乗り切ってしまいました。

その後、船体に振動が生じ始め、舵の効きも悪くなりましたが、近くにいた船の手助けにより帰港し、着岸することができました。

しかし、着岸後に船体の損傷状況を確認せずに、そのまま帰宅したため、翌朝、半沈状態となっていました。

B丸からは燃料油が流出しましたが、オイルフェンス、油処理剤、油吸着マットを使用して全て処理され、船体は、手配した業者によって陸揚げされました。

浅瀬の正確な位置を把握し、底触した後は、船体の損傷状況を確認しましょう。

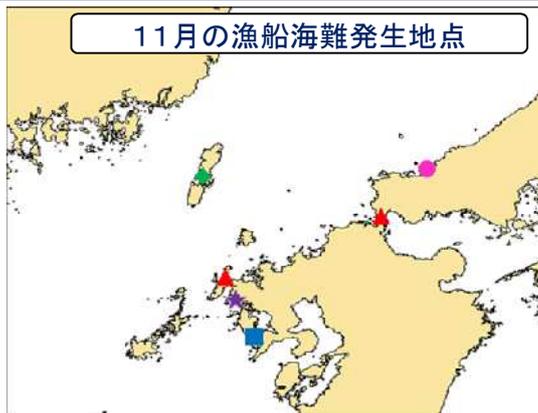


半沈状態となったB丸の状況



漁船海難隻数 (速報値)	
衝突 ▲	2
運航阻害 ◆	1
火災 ☆	1
乗揚 ■	1
その他 ●	1
<b>合計6隻</b>	

	県別内訳	
	11月	H28累計
山口県	1	17
福岡県	1	25
佐賀県	0	5
長崎県	4	43
大分県	0	13



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

## 過去3年間の漁船海難の発生状況

### ＜漁船海難トップ3＞

	※平成28年	平成27年	平成26年
第1位	衝突	衝突	衝突
第2位	乗揚	乗揚	乗揚
第3位	運航阻害	転覆	その他

※平成28年は、11月末までの速報値によります。

毎年1位は**衝突**、2位は**乗揚**の順に多くの漁船海難が発生しています。常時、適切な**見張り**を徹底しましょう。漁船セーフティラリーもあと少しです！みなさん、無事故で、良い年をお迎えください！



©JCGF